

【通常工事2件と30年7月豪雨災害関連工事2件の現場代理人を兼務する場合の例】

特例措置様式

平成30年11月1日

通常工事を先に記入（兼務工事1、2欄に記入）、その後続けて30年7月豪雨災害関連工事を記入（兼務工事3、4欄に記入）する。

所在地 松山市〇〇町1-1

商号名 株式会社〇〇建設

代表者 代表取締役 〇〇 〇〇



下記工事に係る現場代理人、主任技術者を兼務配置したいので届け出ます。
工事の施工に当たり、関係法令等を遵守し、安全・工程・現場管理に万全を期し、発注者からの連絡には携帯電話等で即応し、求めがあった場合は速やかに工事現場へ臨場します。
兼務が適当でないと判断された場合は、いかなる措置を受けても異議ありません。
なお、下記に記載した内容は事実と相違ないことを誓約します。

兼務工事1 通常 ・ 30年7月豪雨	発注機関	松山市					
	工事名	〇〇〇〇工事					
	請負金額	21,600,000円		監督員	〇〇 〇〇		
	工期	平成30年5月15日～平成30年12月10日					
	現場代理人	氏名	〇〇 〇〇		主任技術者	氏名	〇〇 〇〇
	生年月日	S40.1.1				生年月日	S40.1.1
兼務工事2 通常 ・ 30年7月豪雨	発注機関	松山市					
	工事名	〇〇〇〇工事					
	請負金額	10,800,000円		監督員	〇〇 〇〇		
	工期	平成30年10月5日～平成31年1月18日					
	現場代理人	氏名	〇〇 〇〇		主任技術者	氏名	〇〇 〇〇
	生年月日	S40.1.1				生年月日	S40.1.1
兼務工事3 通常 ・ 30年7月豪雨	発注機関	松山市					
	工事名	〇〇〇〇応急対策工事					
	請負金額	43,200,000円		監督員	〇〇 〇〇		
	工期	平成30年9月28日～平成30年11月30日					
	現場代理人	氏名	〇〇 〇〇		主任技術者	氏名	〇〇 〇〇
	生年月日	S40.1.1				生年月日	S50.3.1

- ※工期の始期、監督員等が未定の場合は空白とすること。
- ※松山市以外の工事を記載する場合は、事前に発注機関の内諾を得たうえ、発注機関欄に内諾を得た部署、担当者名、連絡先（電話番号）を記入すること。
- ※兼務が4工事以上の場合は、平成30年7月豪雨災害にかかる応急・復旧工事以外の工事（通常工事）を先に記入すること。この場合、兼務工事1～3の欄の「通常」か「30年7月豪雨」のどちらかを○で囲むこと。
- ※2枚目（兼務工事4以降）がある場合は、両面印刷とすること。

兼務工事 4 30年7月豪雨	発注機関	松山市				
	工事名	〇〇〇〇災害復旧工事				
	請負金額	8,640,000 円	監督員	〇〇 〇〇		
	工期	年 月 日 ~ 平成31年2月22日				
	現場代理人	氏名	〇〇 〇〇	主任技術者	氏名	〇〇 〇〇
生年月日		S40.1.1	生年月日		S40.1.1	
兼務工事 5 30年7月豪雨	発注機関					
	工事名					
	請負金額		監督員			
	工期	年 月 日 ~ 年 月 日				
	現場代理人	氏名		主任技術者	氏名	
生年月日			生年月日			
兼務工事 6 30年7月豪雨	発注機関					
	工事名					
	請負金額		監督員			
	工期	年 月 日 ~ 年 月 日				
	現場代理人	氏名		主任技術者	氏名	
生年月日			生年月日			
兼務工事 7 30年7月豪雨	発注機関					
	工事名					
	請負金額		監督員			
	工期	年 月 日 ~ 年 月 日				
	現場代理人	氏名		主任技術者	氏名	
生年月日			生年月日			
兼務工事 8 30年7月豪雨	発注機関					
	工事名					
	請負金額		監督員			
	工期	年 月 日 ~ 年 月 日				
	現場代理人	氏名		主任技術者	氏名	
生年月日			生年月日			
兼務工事 9 30年7月豪雨	発注機関					
	工事名					
	請負金額		監督員			
	工期	年 月 日 ~ 年 月 日				
	現場代理人	氏名		主任技術者	氏名	
生年月日			生年月日			
兼務工事 10 30年7月豪雨	発注機関					
	工事名					
	請負金額		監督員			
	工期	年 月 日 ~ 年 月 日				
	現場代理人	氏名		主任技術者	氏名	
生年月日			生年月日			